

生物生産科学特論演習 (2 単位)

担当者氏名 夏秋啓子・小塩海平・弦間 洋・足達太郎・中西康博・石川雅之
・眞岡哲夫

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

生物生産科学の中でも作物保護に関する内外の研究論文を検索し、それぞれの研究テーマに関連するいくつかの論文を読解し、とりまとめる能力を養うことを目標とする。合わせて、見学あるいは内外の研究者との議論の機会に、内容を理解し適切な質疑応答のできる能力を身につけることも目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

熱帯作物保護学 系統解析 熱帯作物学 育種学
熱帯園芸学 農業環境科学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学術論文の検索 (4 回)	適切なキーワードにより研究に関連した論文を検索する。その適切性について検討する。	各自の研究に関連した内外の論文を検索し、リスト化するとともに、あらましを読んでおく。
2	既往研究の取りまとめ (2 回)	既往の研究を、各自の研究と関連付けながら概要をまとめる。	修士論文の literature review に相当するよう、学術論文の概要をまとめておく。
3	研究技法の検討 (3 回)	研究に有用な技術・手法を中心に、関連論文から選択して検証する。	論文だけでなく、技術講習会などへの参加を行ない、内容をまとめておく。
4	専門家との討論 (2 回)	専門家を訪問あるいは専門家のセミナーなどの機会を利用して、研究内容についての議論を行う。また、議論を行う方法を理解する。	専門家の研究内容を予め論文などで理解し、質問を考えておく。
5	画像情報の取りまとめ (3 回)	実験結果を中心に画像情報を整理し、適切な保存や管理に付いても理解する。	画像、あるいは図表を整理しておく。
6	研究内容の取りまとめ (2 回)	各自の研究内容を中間と最終の 2 回にわけて口頭発表し、指導を受ける。	研究の進捗状況、問題点を明らかにしておく。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

Essential Plant Pathology (APS, 2009), Tropical Root and Tuber Crops (Lebot, 2009)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

随時指示する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

口頭試問による理解度 (50%) およびミニテストあるいはショートレポート (50%)

◆オフィスアワー

評価責任者 (夏秋) のオフィスアワーは月曜日 8 時半より 10 時半である。事前にメールでの打ち合わせを歓迎する。

◆その他受講上の注意事項

指導は研究の進捗状況に合わせて適宜行うため、日程については事前に相談する。